

○利尻富士町「地域おこし協力隊」募集要項（観光施設利用推進員）

「観光施設利用推進員（2名）」には主に下記2施設を中心に、利用向上のための新たな事業提案やイベントの開催、情報発信等を行ってまいります。その他に事業実施に必要な資格の取得や施設外での活動等、個人個人の能力を十分に発揮出来るような業務を行っていただきたいです。

*施設説明

①温泉プール「湯泳館」

温泉プール「湯泳館」は、平成17年に隣接する温泉保養施設の温泉水を活用した通年利用型プールとしてオープン。オープン当初は健康増進を目的に毎日水中運動教室等の教室が実施されていましたが、人材不足もあり年々教室の開催も低下。それと同時に施設の利用者数も減少し、オープン当初年間約7,000人の利用がありましたが、現在では年間約3,500人ほどの利用者数となっています。

【外観】



【内観】



隣接して、「利尻富士温泉保養施設」を有しており、プールの水は温泉水を利用しているため、プールでの運動効果の他、温泉の効能も同時に期待できる。

また、プール内には一般的な20mプールのほかに、リラクゼーションプール、親水プール、水遊び場、スチーム採暖があり、休日には子どもたちも多く利用している。夏期間には学校の水泳事業でも利用、月に一度ボランティアによるベビースイミングも行われている。



昔は平日・休日問わず水中運動教室やアクアビクス等の教室が開催され、施設内でのインストラクター講習も実施されていましたが、現在は人材不足等により、ほとんど教室等の実施はされていない現状です。

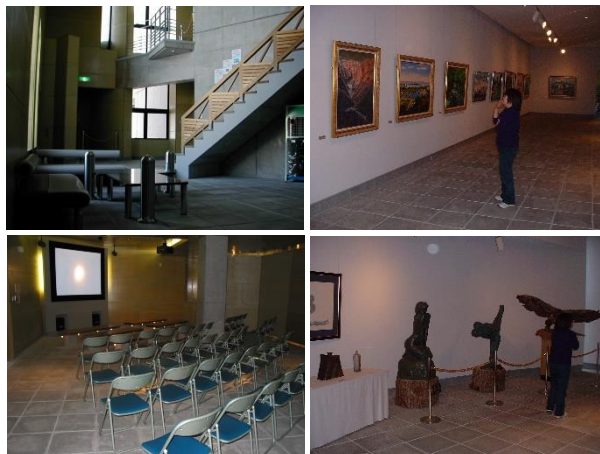
②カルチャーセンター&りっぷ館

「カルチャーセンター&りっぷ館」は平成 2 年に国内の離島初の美術館として 6 月にオープン。当初、カルチャーセンターは「美術館」、りっぷ館は「体験・展示施設」として利用を開始し、平成 17 年まで、年間約 3,100 人の利用がありましたが、平成 18 年以降利用者数が大幅に減少。令和 2 年度まで、年間平均約 268 名と大幅に減少しています。要因としては、開館から 3 年間は定期観光バスや旅行会社による団体客の利用が大部分を占めていましたが、その利用がなくなったことによる減少だと考えられます。また、この現状を打開するための人材が不足していることも大きな課題となっております。

【外観】



【内観】



場所は温泉保養施設の近くにあり、裏手には芸術の森（大きな公園）があります。近隣には散策路やキャンプ場、登山道もあるため、立地はかなり良いのですがその外観からか、何の施設なのかが分かりづらく、利用者は年々減少傾向にあり、また、展示品等も統一性がなく、施設の PR 等もできていない現状です。

*** 地域おこし協力隊に協力して欲しい事**

これらの現状の打開のために、町民を対象とした水泳教室の実施や季節毎のイベントの実施、その他施設利用促進につながる事業の企画・提案などをお願いしたいです。また、当施設の利用促進の他、観光振興につながる事業提案・実施等、個人個人の能力を十分に発揮し、利尻富士町の活性化のために尽力していただくため、サポートします。

また、事業実施や、今後利尻富士町で活躍してもらうために必要な資格の取得も可能です。

(例：旅行業務取扱管理者第一種第二種、ガイド資格、基礎水泳指導員、水泳教師資格、潜水士等)

興味がある方はぜひお話だけでも聞いてみませんか？

ご連絡お待ちしております！！